

栲原町社協だより

ゆすまいる

第18号

平成29年

9月

目次

- 赤い羽根共同募金／生活困窮者自立支援事業・・・1P
- ゆすはら複合福祉施設設立準備室よりお知らせ・・・2P
- 笑顔つながれ!! 輪ッハツハ～町内各種団体リレー～・・・3P
- ちょっと聞いてや～ ～みんなに知っちょいてもらいたい～・・・4P
- 輝く栲原人! み～つけたっ!・・・5～6P
- 掲示板 (座談会開催について)





ゆすはら複合福祉施設 設立準備室よりお知らせ

【お問合せ】

社会福祉法人椿原町社会福祉協議会
施設設立準備室 (担当) 立道・山中
電話 0889-65-1800 FAX 0889-65-1802

ふくし就職フェアに出展

8月13日に高知県社協が主催する「ふくし就職フェア」に、椿原町社協としてブースを出展いたしました。当日、会場となりました「高知市文化プラザかるぽーと」には、県内の福祉関係事業所等に就職を希望する282名の来場がありました。

また、本フェアの中で15事業所が参加してのプレゼンテーションにエントリーし、施設の魅力とあわせて、本町の暮らしについて広くPRを行いました。2018年春に卒業予定の学生の来場者が多く、当法人ブースには12名の相談がありました。

相談者からは、ゆすはら複合福祉施設での業務のことや、本町での暮らしに関する具体的な質問があり、本施設に関する関心度の高さを感じました。

本フェアには、全体で75事業所の出展があり、県内各地の事業所の方々と意見交換を行うことができ、それぞれの取り組み状況や介護現場の現状について学ぶことができました。

平成30年度ゆすはら複合福祉施設スタッフの募集について

平成30年4月からゆすはら複合福祉施設スタッフとして従事していただく介護職員を募集しています。応募資格は、4年制大学、短期大学、専修学校を2018年春卒業見込みの方(学科学部は不問)または、介護職員初任者研修終了以上かつ2年以上の実務経験のある方です。

応募締切は9月29日(必着)、採用試験は10月15日に行います。

詳細につきましては、お気軽に施設設立準備室までお問い合わせください。
皆さまのご応募をお待ちしております。

施設設立準備室 (TEL 65-1800)

新人職員紹介

平成29年9月1日より、椿原町社協職員として採用となった方を紹介いたします。

【自己紹介の内容】 ①名前 ②出身 ③ひとこと

介護職員



①成岡 陽子
(なるおか ようこ)
②高知市
③1日も早く椿原人になれるよう頑張ります。よろしくお願致します。



①土釜 知佐
(どがま ちさ)
②椿原町神在居
③みなさんの力になれるよう頑張ります。



赤い羽根共同募金

10月から始まります!

この共同募金は、都道府県ごとに行われ、寄付した皆さんの地域で役立てられている募金です。災害の時などの例外を除き、集まった募金はその県内で使いみちが決められています。椿原町で集められた募金の7割は椿原町内で使われ、3割は高知県内(椿原町を含む)で使われます。

椿原町で使われている助成金は、まごころ弁当、地域単位での親睦、独居高齢者宅への配食(よつば会)、高齢者宅へのお手紙(シルバー人材センター)、災害ボランティアセンター体制整備、無料法律相談などの事業となっています。

募金期間は、**10月1日~12月26日まで**となっています。ご協力よろしくお願いいたします。



本事業では、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図ることを目的としています。

相談者の自立と尊厳の確保に努め、健康や日常生活をよりよく保持する「日常生活自立」、社会的なつながりを回復・維持する「社会生活自立」、経済状況をよりよく安定させる「経済的自立」に向け段階に応じた支援を行っています。

また、親だけでなく子どもの貧困についても年々増加の傾向にあり、平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす子どもの学習支援をはじめ、日常生活習慣、仲間と出会う居場所づくり、進学に関する支援、高校進学者の中途退学に関する支援等、子どもと保護者の双方に必要な支援も行っています。



生活困窮者自立支援事業

仕事に就く自信のない方等が、仕事に就くことができるようにサポートもしています

- 第1段階 生活自立支援 仕事をするための生活習慣が整えられるように支援します
- 第2段階 社会自立支援 他の人と一緒に作業などができるように支援します
- 第3段階 就労自立支援 仕事に就くための具体的な準備をします





ちょっと聞いてや〜

〜みんなに知っちゃいてもらいたい〜

おげんき発信通信

1日1回発信するだけ!

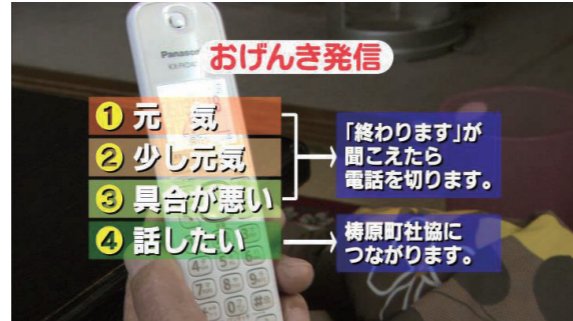


お加減はいかがですか?
番号を入れてください。

おげんき発信は、安否確認センサーや緊急通報装置とは違い、その日の自分の状態を、電話（固定・携帯どちらでも可、IP電話は不可）を使って自ら発信する、新しい安否確認の仕組みです。毎日の習慣にすることで、いざという時に気にかけてもらえる仕組みになっています。一人暮らしの方でもご夫婦でも、老若男女問わずご利用頂けます。関心を持たれましたらお気軽に社協までお問合せください。まずは職員が説明に伺います。いまは、体験や一週間のお試し利用もできますので、ぜひご相談ください。



毎朝一回、電話をかける



「終わります」が聞こえたら電話を切ります。
梶原町社協につながります。

発信がなかった場合、みまもりさんがおげんきさんを安否確認!

事前にご利用者の方と相談して決めた「みまもりさん」が、おげんき発信が無かった場合など、必要に応じて伺います。



自殺予防 いのちの電話

なやみ ところ
0120-783-556

毎月10日(フリーダイヤル)24時間・無料です
8:00~翌日8:00

一般社団法人 日本いのちの電話連盟 <http://www.find-d.jp> 後援:厚生労働省



笑顔つながれ!!

輪ッハッハ

〜町内各種団体紹介リレー〜



前回の梶原町連合青年団の二神貴登さんにご紹介頂き、
今回は 梶原町スポーツ推進委員 西村 俊二さん にインタビューしました。

日頃からスポーツに取り組んでいる西村さんに活動に対する思いをお伺いしました。スポーツ推進委員の活動やスポーツの魅力についてユーモアを交えてお話ししていただきました!!

宇賀 よろしくお願ひします!まずはスポーツ推進委員のことについて教えてください。

宇賀 取り組みを続けていく上での目標や思いを教えてください。

西村(俊) スポーツ推進委員は、スポーツに関する深い関心と理解を持って、スポーツの実技指導を行ったり、スポーツ活動推進のための組織の育成、スポーツ行事等に協力、また住民に対しスポーツについて啓発活動等も行っています。ゆずはら雲の上スポーツクラブの運営のために各区1人ずつスポーツ推進委員が選ばれており、それにプラス私がスポーツ推進委員長として入っています。スポーツクラブの各区の窓口になってほしいということもあって、昔は町民運動会や体育初めの各区の取りまとめをしていました。運営の中に入ってラジオ体操などもしていました。「スポーツクラブは各地域の人たちでできるスポーツの場を設けましょう」ということで設立しました。県、高幡、町の推進委員があり、今年の高幡地区の担当は梶原になっています。高幡地区ではサッカーやソフトボールなどの大会を毎年やっており、大会へ参加の呼びかけをするのがスポーツ推進委員の役目となっています。

西村(俊) みんなにスポーツをしてもらいたい!今度できる図書館にボルダリングの壁も出来るし(笑)講師を呼んでヨガ教室とか、プールでの水泳教室など色々なことをやっているけど、あまり知られていないんだよね。会員も増えたかなと思っていたけど、あんまり増えてないしね。もうちょっと若い人がやるスポーツも一緒にやってみたいと思うけど。スポーツに限らないけど、色んなところに行って色々な人と話をして、行って話をするだけではなく、何か1つスポーツをすることで色々なところに友達ができたり、年齢層も様々だし、地域交流、世代交流ができるところが良いよね。人が少なくなってきたけど、色々なスポーツを通じて、つながりができることは面白いと思うから、色々なスポーツにチャレンジしてほしいと思う。

現在の雲の上スポーツクラブでは、サークル・教室数が9つあって、会員数のべ116名が活動しています。

西村(悠) では最後にひとこと、お願いします。

西村(悠) 西村(俊)さんが関わるきっかけは何でしたか?あと、取り組んでみてどうでしたか?

西村(俊) こんなスポーツしたいけどどうしたらいい?といったことに情報提供します。パンフレットもあります。直接スポーツしているところに行ってもらってもかまいませんし、各区のスポーツ推進委員に聞いてもらってもかまいません。やりたいと思ったら動きましょう!体を壊さない程度に(笑)

西村(俊) やりたいことをやっていたら気づけばなっていました(笑)

宇賀・西村(悠) ありがとうございます!

スポーツの魅力は膝が痛いこと!(笑)
仕事の汗とスポーツの汗はやっぱり違うね。

次回は **社会福祉法人カルスト会**
中越 平さん です!お楽しみに!

輝く梶原人！み～つけたっ〇〇！

in 東区



85歳と高齢にも関わらず、げらげら家族会で意欲的に活動されている。また、地域でも代表等を務められるなど人柄も魅力的な甲次郎さんにお話を伺いました。

かたおかこうじろう 片岡甲次郎さん (85)

昭和7年生まれ。後別当出身。梶原で生まれ育ち、若いころは自衛隊に入隊する直前までいったが、どうしても町を離れられず、その後は、営林署をはじめ、色々な仕事をしてきた。子どもたちも無事に育ち、定年後は、畑をしたり炭を作り生活をしている。今は野菜を作ったり、入所中の妻に会いに行くことが生きがいで、げらげら家族会にも参加している。

妻の介護と1人の生活

平成19年頃から妻が認知症になり介護が必要になりました。その後平成25年に施設に入所しました。炊事は子供のころからやり染めています。やっぱり1人の家は寂しい気がします。今でも月に何度かは妻に会いに行っています。入所した時から毎回ヤクルトを持って行って飲ませます。以前は喜んで飲んでくれましたが、今はなかなか言葉が出ません。でも、飲んでくれるのを見ていると私も嬉しいです。



▲ げらげらカフェの様子



◀ 介護体験談を語る様子

町の将来

部落の代表を2回しましたが、部落や町から若者がどんどん減っていくのを見ると寂しくなる。昔は祭りや集りがあればもっとにぎやかにしていた。何とか若者の職場が増えて町が元気になればよいと思う。この年まで長生きしてこれたのは、家事を1人でして、妻の存在があったから。いつあの世に行ってもいいが、できる限り野菜を作ったり地域の集まりに出たりして元気で暮らしていきたい。今の生活には満足しています。

in 松原

つちやゆうじ 土屋雄嗣さん (62)

愛媛県出身。以前、仕事で動画作成の仕事に携っており、25年くらい前には梶原町内で一時期、行われていたオフロードバイクの大会にビデオ撮影のため愛媛県松山市から毎年通う。そこで松原の方とつながりが出来、その後も交友関係が続く。松原地区に友人たちと遊びに来たりお米を作ったりするなどしているうちに松原地区が気に入るようになり、2010年の年末に松原地区に移住される。

移住されてから、以前の仕事だった映像音響関係の経験を活かし、地域での行事の機器関係を助けてくれる頼もしい土屋さん。その土屋さんが、健康に対する思いをもち、梶原町で新しいことに挑戦中とのことで、お話を伺いました。

健康で豊かな生活に貢献したい

農産物として最初、椎茸の栽培を行い、場所や技術など地域の方にご協力頂き、高品質の栽培を行うことができました。さらにほかの農産物の展開を考えていたところ、知人の発病をきっかけに「春ウコン」という植物を知り、農地をお借りして少量の種芋より栽培を始めて今年で3年目を迎えています。「春ウコン」は身体にすごく良いとされています。私の好きな言葉で、「思考は現実化する」という言葉があるんです。でも、現実化させるためには身体的にも精神的にも健康であることがとても大切だと思っています。私は、一人でも多くのひとの健康のために取り組んでいきたいと思っています。



松原菜園の看板 ▶



◀ 収穫した「春ウコン」

松原菜園

地域のみなさまに支えられて

栽培開始と同時に梶原町の補助金「梶原人を元気にする補助金」に応募して、今年の7月に春ウコンの粉末を錠剤にした製品をインターネットマルシェで販売を開始できるようになりました。販売するにあたり、「松原菜園」として、屋号に松原の地名を使わせて頂くことになり、看板を松原郵便局長さんをお願いして住居入り口に掲げました。現在移住して6年半になりますが、町内、地区、ご近所の皆様、町長をはじめ役場の皆様、多く皆様のお力添えでなんとかここまでやってきました。これからが本番と考えております。今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

掲 示 板

気軽に話し合える場を一緒に作ってみませんか？

社協では住民の皆さんの「地域の為に何かしたい！」という“想い”を応援するため、地域での話し合いの場をお手伝いしています。

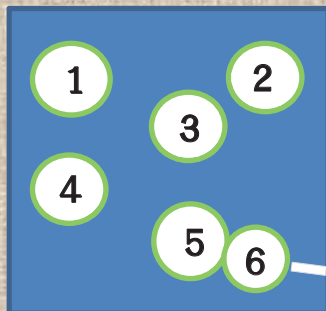
昨年度には 15 部落の座談会をお手伝いし、この座談会が契機になって、独自の取り組みに挑戦し始めた地域もありました。また、話し合いの中で取り組み等に発展しなくても、自分たちの暮らす地域を改めて振り返る事で、地域のつながりをより強くするきっかけになるとも考えています。

『地域でこんな事をやってみたい！』、『住み続けていきたいと皆が思える地域にするには？』など、地域で話し合ってみてみたい方はぜひ社協にお声をかけてください。事前に座談会の方法を一緒に考え、当日もお手伝いいたします。

お菓子をつまみながら気やかな雰囲気でも話し合える場を一緒に作ってみませんか？ご相談お待ちしております。



** 表紙の写真について **



- ① 梶原消防団高陵大会での競技中の写真
- ② 梶原学園の学童で川遊びをしている様子
- ③ 梶原の林で、樹木にとまっているチョウを見つけました。
- ④ 梶原学園の学童で川遊びをしている様子
- ⑤ よさこいチーム梶原のメンバーさん
- ⑥ 地方車賞を受賞したよさこいチーム梶原の地方車

🍁 表紙で使う写真を募集しています！ 🍁

いつも梶原町社協広報誌「ゆすまいる」を見て頂きありがとうございます。「ゆすまいる」では表紙に載せる写真を募集しています。「梶原」「笑顔」をテーマに、笑った人が写った写真、笑いたくなる写真、梶原町の景色、生き物などの写真を提供頂けたらと思います。構わない方は社協までご連絡ください。担当：宇賀・西村・中越(悠)

発行元：社会福祉法人 梶原町社会福祉協議会 住所：高知県高岡郡梶原町川西路 2321-1

発行責任者：樋口 益也 電話：0889-65-1235 ホームページ：<https://www.yusuhara-shakyo.jp/>